

那須歴史探訪館テーマ展 「芭蕉と那須町」が開催中です



那須歴史探訪館では現在、テーマ展「芭蕉と那須町」が開催されています。展示されている資料の中には、江戸から俳諧士を呼び句会を催した作品集の句集「常盤木」があります。句集の中に、桃風、桃英と桃の字が多く見られ、芭蕉の流れをくむ系統であることが推測されています。また、芦野家家臣の名前も見られます。

ぜひ、お出掛けください。

開催期間など詳細については、25ページに掲載しています。



那須サイクリング協会(NASCA) 自転車安全講習会

- ▼交通ルールを正しく理解し、安全な走行やマナーを身に着けるため、地元プロサイクルロードレースチームの那須プラーゼンの選手が皆さまに分かりやすく説明します。講習会のあと、余笹川ふれあい公園で走行テクニク等を学ぶ講習も行います。
- ▼日時 5月21日(日)午前10時～正午
- ▼場所 那須サイクルベース (黒田原地区まちづくりセンター内)
- ▼参加費 無料
- ▼対象 小学生以上
- ▼講師 那須プラーゼン

- ▼講習スケジュール
 - ・午前10時～11時 安全走行講習会
 - ・午前11時～正午 余笹川ふれあい公園へ移動し、公道走行マナー、走行テクニク等の講習
- ※雨天時は安全走行講習会のみ
- ▼持ち物 自転車、ヘルメット、飲み物、運動ができる服装、筆記用具(任意)
- ※自転車やヘルメットをお持ちでない方は那須サイクルベースのレンタルサイクルをご利用ください。(有料)
- ▼問合せ・申込み サイクリング協会
☎070・3990・3699

皆さんこんにちは。協力隊員の木下です。また新しい春を迎え、着任から1年8カ月が経ちました。いよいよ、協力隊の任期としても残り1年間となり、より身の引き締まる思いです。協力隊の任期である3年間(私の場合は年度途中の8月から着任したため、実際は2年と8カ月の任期です)は想像よりも短く、那須に移住してからの時の流れの早さを実感しています。今回の記事では、年度初めということもあり、残り1年となった任期に対する抱負とこれまでの活動の反省についてお伝えします。

私が協力隊に着任して、初めてメディアに活動を掲載された際に掲げていた目標は「町の経済循環に寄与」することでした。それは今も変わらぬ目標の1つですが、1年8カ月経過した今、中々結果が出せていないのが実情です。日々、トライ＆エラーを繰り返していますが、地方でお金を新たに生み出していく難しさを痛感しています。特に地域振興でも重要なキーワードでもある「継続性」を考えた際にはなおさらのことです。3年目の活動ではこのことを反省し、次に繋げていかなければと考えています。協力隊退任後、那須に拠点を置き、仕事をさせていただくためにも今年1年間でその糸口をつかまなければなりません。そのために、メディアを活用した取り組み(映画製作やラジオ放送)、キャラクターを活用した地域プロモーション等現在の活動を軸に置き、さらなるステップに進みつつ、拠点づくりに向けた新たな事業も展開していく予定です。現在の活動は黒田原中心ですが、今年度は那須町全体をはじめ、近隣市町村とも連携し、広域にも目を向けて活動をしていきたいと考えています。

最後の1年間、しっかりと活動実績を残し、那須に拠点を置き続け継続的な地域振興に取り組んでいけるよう、まい進していきます。

地域おこし協力隊の

活動レポート

Vol.17

木下 愛員

宇都宮パルコ特別企画展「クロロとゆめなPOP UPGARRY」の様子 (H29.1.1~15)

メデアに活動を掲載された際に掲げていた目標は「町の経済循環に寄与」することでした。それは今も変わらぬ目標の1つですが、1年8カ月経過した今、中々結果が出せていないのが実情です。日々、トライ＆エラーを繰り返していますが、地方でお金を新たに生み出していく難しさを痛感しています。特に地域振興でも重要なキーワードでもある「継続性」を考えた際にはなおさらのことです。3年目の活動ではこのことを反省し、次に繋げていかなければと考えています。協力隊退任後、那須に拠点を置き、仕事をさせていただくためにも今年1年間でその糸口をつかまなければなりません。そのために、メディアを活用した取り組み(映画製作やラジオ放送)、キャラクターを活用した地域プロモーション等現在の活動を軸に置き、さらなるステップに進みつつ、拠点づくりに向けた新たな事業も展開していく予定です。現在の活動は黒田原中心ですが、今年度は那須町全体をはじめ、近隣市町村とも連携し、広域にも目を向けて活動をしていきたいと考えています。

最後の1年間、しっかりと活動実績を残し、那須に拠点を置き続け継続的な地域振興に取り組んでいけるよう、まい進していきます。